

融合新領域研究戦略的アセス調査

1 趣旨

先端医療分野のバイオテクノロジー、情報工学、ナノテクノロジー等新領域の先端的技術は、各産業分野の技術と組み合わせられることにより、将来の世界経済や社会に画期的な飛躍と恩恵をもたらすものと期待されている。また、現在、日米欧の先進国間においては、新領域の研究成果に関する知的財産権の取得等の競争が激化している。

このような状況の中で、農林水産分野においても、新領域の先端的知見を融合した新技術の実用化と、その迅速な産業化を一層進めていくことが重要となっております。このため、新領域の先端的技術の農林水産分野への導入利用の可能性を見極める農林水産研究開発プロジェクト化に必要な技術的評価（テクニカルアセスメント）及び産業化・実用化の可能性調査を戦略的に実施する。

2 内容

(1) 技術的評価（テクニカルアセスメント）

科学技術的知見、基盤的技術を最前線から幅広く収集・蓄積し、農林水産分野に新領域を融合させる研究開発について技術的課題等の検証を行いつつ、融合新領域を取込んだ世界に負けない独創的な研究手法やこのための研究体制のあり方等の戦略を明らかにして、農林水産研究開発プロジェクト化への応用に向けた技術的評価を迅速（1年間）に実施

(2) 産業化・実用化の可能性調査

早期の製品化等が期待される産業化・実用化に直結する研究開発プロジェクトに繋がる課題については、迅速かつ確実に産業化・実用化を図るため、1年目の技術的評価の結果を基に、市場評価、実践評価や実証試験等による産業化・実用化の可能性調査を2年目に実施

3 実施主体 大学、民間団体 等

4 実施期間 平成16年度～平成20年度

5 平成18年度概算決定額 73（87）百万円

[担当課：農林水産技術会議事務局 技術政策課]

